



学校
だより

月にみがきて

令和4年11月25日
千曲市立更級小学校

<文責>
教頭：青木 猛

「なかよし月間」 11月1日～11月30日

校長先生のお話より(11月9日水曜日)

今日の校長講話は、「天国と地獄の長い箸」というお話です。三尺三寸の長さってわかりますか。日本の伝統的な長さの単位です。それで三尺三寸というと約1mです。みなさんは毎日お箸を使っていますよね。そのお箸がこんなに長かったら上手に使えるかなあ。今日は長いお箸が出てくるお話を紹介します。

むかし、ある男がえんま大王様に会いに行き、天国と地獄というのは、どういふ世界なのかを聞きました。すると、えんま大王様は、男に、天国のようすと地獄のようすをそれぞれ見せてくれました。最初に地獄へいってみると、そこはちょうど食事の時間でした。部屋の真ん中にある大きなテーブルの両側に、おなかをすかせた人たちが並んでいます。「地獄のことだから、きっと、ろくな食べ物もないにちがいない。」と思ってテーブルの上を見ると、それはそれは豪華な料理が山盛りでした。ところが、ここにいる人たちは、みんながりにやせています。「おかしいぞ」と思って、よく見ると、手にはとても長い箸が握られていました。三尺三寸、1メートルほどある長い箸です。この地獄では、ながーいはしで食事をしなければならぬ決まりなのでその長い箸を必死に動かして、ご馳走を自分の口に入れようとしますが、箸が長すぎて上手にいきません。イライラして、怒り出す人もいます。それどころか、隣の人がつまんだ料理を奪おうとして、醜い争いも始まりました。せっかくの豪華な食べ物もこぼれてしまうばかりで、ぜんぜん口に入りません。結局、地獄の部屋の人たちは、いつまでもだれも食べることができずにいるのです。次に、男は、天国へ行きました。天国でも食事の時間らしく、大きなテーブルに仲良く座っていました。テーブルの上には、地獄で見たのと同じように豪華な料理が並んでいます。「天国の人は、さすがにみんなふっくらしていて、とても健康そうだな」と思いながら、ふと目をやると、なんと手には地獄と同じ長い箸がにぎられています。そして、地獄と同じように、天国の人たちもその長いお箸で、食事をしています。それでも、天国の人たちはけんかもせずにおいしい料理を楽しくいただくことができています。

さあどうしたと思いますか。皆さん、少し考えてみてください。しばらくするとすぐに、その理由がわかりました。天国の人たちは、長い箸でご馳走を挟むと「どうぞ」と言って、自分の向こう側の人に食べさせているのです。向こう側の人「ありがとうございます。今度はお返しいたしますね。あなたは何がお好きですか」と自分にも食べさせてくれるのです。目の前にあるおいしい料理を長い箸でつまんでは目の前の人の口に運びます。お料理はすっかり人々の口に入っていました。だれもが笑顔で、とても楽しい食事風景でした。男は言いました。「なるほど、よく分かりました。全く同じようなことでも、心の持ち方一つで天国にもなるし地獄にもなるのですね。」天国と地獄の分かれ目は、「自分さえ良ければ、人の事なんてどうでもいい」という考えを持つのか「まずは相手のことを大事に」という考えを持つのかで決まるのです。

地獄も天国も食卓に並べられたものに違いはありません。ただ一つ違うのは、そこに居る人の心の違いです。自分さえ良ければ、他の人はどうだってよいという自分勝手な心、地獄の心では、幸せにはなれないということがわかりますね。みんなが、相手のこと、友達のことを大切に考える、天国の心をもって生活できたら、いじめはもちろん、意地悪をして友達に悲しい思いをさせたり、自分勝手な行動でけんかになったりということがなくなり、みんなが仲良く、楽しい更級小学校が作れますね。ところで、一番初め

に見てもらった自画像ですが、どうでしょう。（中略） どうも人間というのは、相手のことを知らない、相手のことを考えないでいると、良くないこと、悪いことばかり見たり、言ったりしてしまうようです。相手のことを考えられるようになるためには、普段から練習をしている必要があるみたいです。なかよし月間が始まっています。この月間中に、みなさんに挑戦してほしいことは、「友だちの良いところをさがそう。→ 友だちのことを考えられる人になれるかな。」「友だちのことを大切に考えよう。→ 友だちのために、どんなことができるかな。」の2つです。なかよし月間を通して、「天国の心」をもった人になりたいと思います。11月11日（金）は、おだやかな天気にも恵まれ、校内音楽会を開催することができました

「令和4年度 音楽会 大成功!!」

た。コロナ禍での開催となり、ステージでの発表以外はマスク着用で行いました。そのような取り組みなどにより、大きな学校行事の音楽会が無事行うことができました。音楽会2週間前からは、ステージでの練習を毎日1時間程度行い、各クラスでも時間を見つけて練習に励んできました。当日はその練習でつけた力をすべて出し切り、一人一人が心を込めて歌い演奏し、素晴らしい音楽会になりました保護者の皆様にも感染防止対策等にご協力いただいた上でご参観をしていただき、お子さんたちの発表に温かい拍手をたくさんいただきました。どうもありがとうございました。



「縄文まつり」に参加しました

さる10月30日（日）に、「さらしなの里」で3年ぶりの「縄文まつり」が開催されました。更級小学校の全校児童も参加させていただきました。「火起こし」「豊穡儀礼」などの儀式が行われました。これらは、当時の食べ物への感謝と次の年も食べ物がとれることを神に祈る儀式でした。

「縄文まつり」の後半では、縄文時代の様子について、各クラスの細かく丁寧に学習したこと内容を、発表してくれました。どのクラスの発表もよく調べたとわかりやすく発表できました。

この「縄文まつり」は、地域に歴史的遺跡があることの誇らしさを改めて理解させてくれるとともに、縄文時代の人々の暮らしを肌で実感できます。

児童のみなさんにとって一生忘れ得ぬ、非常に貴重な体験の機会をいただいています。そして、更級の地域にいる方々と一緒のお祭りに参加することで、地域の一員であるという自覚を持つたことと思います。来年度も、「縄文まつり」が開催され、更級の伝統的行事が継承されていくこと祈り、更級小学校としても積極的に参画していきたいと思っています。

